

(*はここで初めて学習する文法形式)

元の動詞	文法形式	例	課
いた 至る	～に至るまで	みそ、豆腐に 至るまで 、食材はすべて手作りだ。	2
	～に至って	死者が出る に至って はじめて事態の深刻さに気づいた。	16
	～に至っては	理系の科目は苦手だ。物理 に至っては 全くわからない。	16
	～の至りだ	⇒最高に～だ。【硬い言い方】 ①大統領にお目にかかれて、実に 光栄の至り です。 ②言葉遣いの間違いを指摘され、赤面の 至り だった。 ③あのころは 若気の至り で、いろいろ失敗もした。 ⚠️③の「 若気の至り 」は慣用的な言い方で、若いせいでの愚かな行動をとってしまうという意味。	*
あ 当たる	～には当たらない	通勤時間が1時間半でも 驚くには当たらない 。	18
きん 禁ずる	～を禁じ得ない	犯行動機の身勝手さに怒りを 禁じ得ない 。	20
かなう	～てはかなわない	⇒～という嫌な状況は我慢できない。 ①隣のうちの犬がこううるさく てはかなわない 。 ②こんなに文句ばかり言われて はかないませんよ 。	*
しの 忍ぶ	～に忍びない	⇒心が痛んで～することが耐えられない。 ①古い本はもう読まないとは思いますが、処分する に忍びない 。 ②実家の家は今はだれも住んでおらず、見る に忍びない ほど荒れてしまった。	*
は 恥じる	～に恥じない	⇒～の名誉を傷つけない。 ①五つ星レストランの名に 恥じない 料理を出す。 ②貧乏でも、良心に 恥じない 生き方をしたい。 ⚠️名詞を説明するのに使うことが多い。	*
はばかる	～てはばからない	⇒遠慮や気兼ねをするべきなのに、大胆にも～する。 ①彼は自分は天才だと言って はばからない 。 ②彼女は権力者を気取って はばからない 人だ。	*



練習1 下の□から適当な動詞を選び、適当な形にして、□の上書きなさい。()には助詞を書きなさい。(一つの言葉を2回使うこともあります。)

いた 至る かなう 当たる は 恥じる しの 忍ぶ きん 禁ずる はばかる

- 失敗したからといって、非難する() _____。彼は最善を尽くしたのだ。
- わたしの作品をこれほど多くの人に見ていただけるとは、まさに感激() _____。
- 子供が学校へ行きたくないと言い出す() _____、親は初めて子供の様子に注意を払い始めた。
- 小川氏は財政のことは自分に任せろと言って _____ が、本当にできるのだろうか。
- 失業率は依然として高い。若年層() _____、10%以上になっている。
- 毎日こう暑くては _____。
- この小学校は建造物として歴史的価値があり、壊す() _____ という声が地元住民から上がっている。
- キャプテンという名() _____ ように、チームのために頑張ります。
- 石井氏の差別的な発言には、怒り() _____。
- 地震の被害状況を視察に来た前川大臣は、都市部はもちろん小さい村々() _____ まで声をかけて回った。

練習2 下の□から適当なものを選び、その記号を□の上書きなさい。

a に至っては b には当たらない c に恥じない
d に忍びない e はばからない

新しい市長を決める選挙がやっと終わった。選挙演説では、候補者たちは市のためならどんな努力も惜しまないと公言して① _____ ものだ。今回もある候補者② _____、「この町は昔は活気があったが、今は見る③ _____ ほどさびれてしまった。自分が市長になったら必ず活気のある町を取り戻す。」などと言ったが、どんな具体的な案を持っていたのか。選挙中の言葉と選挙後の行動が違うことはよくあることなので、今さら驚く④ _____ が、とにかく、新しい市長には、長という立場⑤ _____ 市政を志してほしい。